〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 Fax.0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

9月号
第59巻 第8号
2014年

無料
Free

もくじ

今月の１枚 …… 1ページ
・信州山の日「大峰山地の自然なぞ解きツアー」
展示・イベントのご紹介 …… 2ページ
・企画展「日本山岳画協会大町展」のみどころ（2）
展示・イベントのご紹介 …… 3ページ
・日本山岳画協会大町展ギャラリートーク
・古道 塩の道を歩く -大町宿-　・信濃大町山岳フェスティバル
博物館ひろば …… 4ページ
・博物館実習　・大町東小学校の教員研修
・大町高校野外実習　・白馬中学校職業体験学習
・TCAインターンシップの受け入れ　・大町東小学校理科 ートンボの観察会ー

信州山の日記念　～故郷の山に学ぶ～

大峰山地の自然なぞ解きツアー

清水　隆寿

今年は「信州 山の日」が制定された記念の年。加えて大町市制施行60周年・合併10年記念も重なり、山に親しむ重点事業として、大町山岳博物館と友の会の主催により、大峰山地を舞台に平成26年7月21日（月・祝）にトレッキングツアーを行いました。

大町市民にとって鷹狩山は、山頂の展望台から望む雄大な北アルプスの景観と、故郷を一望できる大切な場所であり、友の会の皆さんにとっては毎年行なわれていた春の探鳥会の思い出の地です。今回のトレッキングツアーは、そんな日頃からなれ親しんだ大峰山地について、いつもとは違う切り口によって学ぶことで、故郷の山を見直す機会になればと計画してみました。

大峰山地なぞ解きの切り口の一つとして、大峰山地誕生のなぞを解くカギになる、巨大な山砂利や地層が確認できる露頭や地形を探ることから始まり、一帯に生息する植物の特徴から山全体を覆う森林のなぞへと目を向けました。また、この大峰山地とともに生きた先人達の足跡である鷹狩山山頂に建てられた神社や、山ふところにひっそりとたたずむ寺院、縄文時代以来の人々が暮らした遺跡は、山と共によりそいながら生活し、心のよりどころとし、それからは山を大切に守り伝えてきたことを感じさせてくれました。現代に生きる私たちが先人より引き継ぐべ志も垣間見えてきました。

遠くから眺める山ではなく、実際に自分の脚で歩いてこそ見つけられる新たな知識や疑問があることを、実感として感じ取ることができます。今回の切り口以外にも様々に故郷の山を見つめる糸口を発見してみてください。今回のトレッキングがそんなきっかけづくりとなりましたら幸いです。またみんなで山の秘密を解き明かしにいきましょう。

（市立大町山岳博物館　学芸員）

展示・イベントのご案内

企画展「平成26年度 日本山岳画協会 大町展」のみどころ(2)

前号に引き続き第１部テーマ「日本の山、世界の山」（会期：７月19日(土)～９月15日(月)）において展示する作品について、作家自身により、描かれた時のエピソードや作品の解説を紹介していただきます。

「春の剱岳」

武井　清　東京都生まれ、現在山梨県在住。元光陽会々員、日本山岳会々員。

第Ⅰ部　(1)作品名「春の穂高連峰」油彩画　F100

五月の槍沢を滑ろうと、連休明けをねらって、山の友人達と槍ヶ岳山荘へ向った。三千mを超えると山は未だ冬。夕暮れの山頂でスケッチをするが、寒くて思うようにペンが走らない。しばらくなにもせず、ただ目のまえに広がる穂高連峰をみる。神々しい荘厳なたたずまいをみせる山々を心にしっかりやきつける。明日も天気は良さそうだ。

(2)作品名「春の剱岳」油彩画　F50

(3)作品名「ユングフラウ（スイス・クライネ シャイデック）」油彩画 F20

「筑波山　秋」

武本嘉成　東京都生まれ、現在千葉県在住。無所属。

第Ⅰ部　(1)作品名「筑波山　秋」油彩画　F50

広い関東平野にそびえ立つ「筑波山」は、昔から「西の富士、東の筑波」と愛称され、茨城県の南西部に位置し、男体山、女体山の２つの峰を持ち、古くから信仰の山として栄えている。山頂に筑波神社の本殿があり、山腹に拝殿がある。日本百名山の中で、最も標高が低い（877ｍ）独立峰で、水郷筑波国定公園に指定されている。

自宅から比較的短時間で行ける百名山なので、最も多く描いている山である。この山は四季の変化の色が少なく、色で描く小生としては苦労する山である。見る位置により型が変わるが、この絵は国道294号線の下妻市から描いたものである。

(2)作品名「浅間山　春」油彩画　F20

「マナスル曙光」

田中泰道　東京都生まれ、現在神奈川県在住。大調和会々員、港の作家美術協会々員、日本山岳会々員。

第Ⅰ部　(1)作品名「マナスル曙光」油彩画　F50

マナスル(8163ｍ)は、日本人が初登頂の８千m峰でヒマラヤ山脈のネパールにある。

10月下旬にカトマンズからヘリでマナスル山群の山麓のロー（3150ｍ）に着いた時は雨期の最終日で、翌日から晴天が続き素晴らしい山々を眺めながらのトレッキングとスケッチを楽しむことができた。この絵はサマドゥ（3900ｍ）でのキャンプから夜明け前サマドゥピークへの急斜面に取り付き、今まで前山で見えなかったマナスルが見え出し、夜が白々と明け始めたところでスケッチを始め、マナスルが日の出直前赤く染まるのを待って水彩（淡彩）で彩色したものを作品にしたものです。日の出直前の短時間、赤に染まる山、私の好きな場面です。

(2)作品名「ランタン谷、新春の祈り」油彩画　F15

「南岳より穂高連峰」

千葉　潔　大阪府生まれ、現在長野県在住。無所属。大阪芸大卒。

第Ⅰ部　(1)作品名「南岳より穂高連峰」油彩画　F50

槍ヶ岳スケッチ教室の講師として毎年訪れる際に、欠かさず南岳にも足を伸ばす。南岳の山頂や獅鼻、そして常念平方面から穂高連峰に目を向けて数え切れぬ程、取材を重ねて来た。昨年の取材は天候に恵まれ、午後からの光でデッサンを取る事ができ、今回の作品となった。言うまでもなく、日本の山は午前中天気が安定し、午後崩れる事が多い。一日を通してコンディション良く取材を続ける事は難しく、また珍しい。貴重な一点となった。

(2)作品名「槍沢、光り溢れ」油彩画　F20

「白馬岳への縦走路」

藤田錦一　東京都生まれ、現在千葉県在住。無所属。

第Ⅰ部　(1)作品名「白馬岳への縦走路」油彩画　F50

白馬鑓ヶ岳方面から見た縦走路を描いた。手前の荒々しい岩肌を見せるのが杓子岳、奥の美しい三角錐が白馬岳。夏山特有の沸き立つ雲に隠れる直前を描いた。

白馬岳は見る角度によって様々な表情を見せるが、白馬山荘が見えるこの縦走路の眺めは、白馬岳への憧れを大きくする。この方角から見ると、白馬岳は穏やかな斜面、杓子岳は厳しい岩肌。その対比が魅力だ。美しく、たおやかで荒々しい。そんな多様な表情を見せる山域に魅了されてやまない。

(2)作品名「夏の白馬岳」油彩画　F20

展示・イベントのご案内

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています。９月は 20 日（土）と 21 日（日）です。

「日本山岳画協会大町展」ギャラリートークのご案内

企画展「日本山岳画協会大町展」は、7月19日から11月24日まで開催中です。今回の企画展は、2部構成で、第I部テーマが「日本の山・世界の山」（開催期間：7月19日㈯～9月15日㈪）、第II部テーマが「北アルプスを中心とした山岳画」（9月17日㈬～11月24日㈪）とし、山の魅力について絵画を通しお伝えします。

期間中にはギャラリートークを行ない、出品作家自らが描き方や登山時のエピソードを交え、展示作品の解説を行います。この機会に大勢の皆様のご来館をお待ちしております。

ギャラリートーク

□日　時　第Ⅰ部解説　９月１４日㈰
第Ⅱ部解説　10月12日㈰、10月26日㈰
※いずれの日も午前10時30分～と午後2時～の2回開催致します。（各回30分程度）
※観覧料は、通常の入館料と同じ、大人400円、高校生300円、小・中学生200円となります。（毎月第3日曜日及び前日の土曜日は「家庭の日」で、大町市民は無料となります）

「古道 塩の道を歩く ―大町宿―」イベントのご案内

平成19年に日本海をスタートし、塩の道を北から南へ毎年リレー形式でたどってきたこの企画。今年は完結編として大町市街地周辺を歩きます。市街地の「大町宿」周辺、約3㎞のコースを、往時の宿場町の様子を想像しながら講師といっしょに散策します。その後、「塩の道ちょうじや」で、塩の道の全体像について講師から解説を受けて館内を見学し、塩の道の歴史と民俗について学びます。

□日　時　平成26年10月13日（月・祝）
午前１０時～午後３時　　※雨天実施
□行　程　「塩の道ちょうじや」集合10：00→高札場跡→創舎わちがい→庚申道標・大黒天→弾誓寺→天正寺→「塩の道ちょうじや」で昼食、解説・見学、「塩の道ちょうじや」解散15：00
□講　師　相澤亮平さん
（元大町市文化財センター文化財指導員）
□対象・定員　小学生以上　20人
※小学3年生以下は保護者と一緒に参加してください。先着順
□費　用　大人1,500円 小・中学生500円（保険代含む）
□持ち物　昼食、飲み物、雨具、筆記用具
□申し込み　10月７日㈫までに、電話・FAX または直接、山岳博物館へ

信濃大町山岳フェスティバル実行委員会主催

「信濃大町 山岳フェスティバル 2014」イベントのご案内

今年、長野県では「信州 山の日（7月第4日曜日）」の制定をきっかけに、今年度を「信州の山 新世紀元年」と題し、「山」に関するさまざまな取り組みを集中的に実施しています。また、国においても平成28年度から毎年8月11日を「山の日」とすることになりました。大町市においては、山岳博物館創立50周年をきっかけにして、平成14年に「山岳文化都市宣言」を行い、21世紀にふさわしい山岳文化の発展と創造をめざし、自然と人とが共生する「山岳文化都市」とするまちづくりに取り組んできました。

今年はじめて開催される「信濃大町 山岳フェスティバル」は、長野県民共通の財産であり、貴重な資源である「山」に感謝し、「山の恵み」を将来にわたり持続的に享受していくとする「信州 山の日」制定の趣旨にもとづき、大町市で開催されるものです。

□日　時　平成26年9月13日㈯
午前10時～午後3時30分　※雨天実施
□会　場　大町公園・市立大町山岳博物館・長野県山岳総合センター
□来場方法　当日、山岳フェス来場者が、大町公園駐車場とその周辺に自家用車を駐車することはできません。下記の方法でご来場ください。
①徒歩（徒歩で来場された方には景品を差し上げます）
②無料シャトルバス（会場～塩の道ちょうじや～大町市役所駐車場）
□内　容

さんぱくイベント

①無料開放
終日、どなたでも博物館へ無料で入館いただけます。
②スポットガイドツアー
博物館のスタッフが館内や付属施設を案内しながら、各展示コーナーの解説（1日5回実施。時間はいずれも20分程度）。
③さんぱくクイズラリー
山博（さんぱく）こと山岳博物館の展示フロアをまわりながら、クイズに挑戦！
④どうぶつスタンプラリー
付属園の飼育動物を観察しながら、園内に設置してある台紙に手作りのオリジナルスタンプを集めよう！

ステージエリア

三四郎・なるみトークショー、The Big Band Of Music Toys JAZZ LIVE、The Voices of Japan（VOJA）GOSPEL LIVE、モンベル製品・山小屋グッズが当たる抽選会　ほか

地元の食エリア

ミネラルウォーター試飲、山の恵み「ジビエふるまい汁」（数量限定）無料提供、お試し！ワンコイン黒部ダムカレー販売（500円）　ほか

山と憩いのエリア

サンドアート体験、安全登山啓発　ほか

長野県山岳総合センターイベント

長野県山岳総合センター無料開放
ミニボルダリング体験

□お問い合わせ
信濃大町山岳フェスティバル実行委員会事務局
大町市観光課内 TEL0261-22-0420（内線562）
※このほか、下記の関連イベントが実施されます。

三浦豪太講演会「オリンピックからエベレストへ」

・日　時　9月14日㈰午後6時～（開場午後5時30分）
・会　場　アプロード3階 レインボーホール（JA 大北会館）
・費　用　入場無料（申込み不要）

博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

博物館実習

平成26年8月5日㈫～9日㈯実施

当館では、学芸員の有資格者となるために大学で修得する博物館関係の科目単位のひとつである博物館実習を希望する大学生の受け入れを毎年行っています。本年度は、帝京大学文学部、信州大学教育学部、京都女子大学現代社会学部、帯広畜産大学畜産学部の学生４人を受け入れました。

当館での実習は、博物館における実践的な側面の学習を主眼において実施しており、「子ども夏期だいがく」などの教育普及活動を中心に、資料整理作業や受付業務などの博物館業務全体について実習を行っていただきました。

大町東小学校の教員研修

平成26年7月21日㈪・8月5月㈫実施

小・中学校の教員研修として、採用から３年目の先生を対象とする、異業種研修が夏休みを利用して行われ、大町東小学校の先生１名が２日間にわたり博物館において研修を行いました。研修１日目の７月21日には、「大峰山地の自然なぞ解きトレッキングツアー」に同行。8月５日には博物館で行われた小学校との連携授業に立ち合い、博物館と学校連携授業を行ううえでのご指摘や感想をお聞きし意見交換をするなかで、相互連携の方策を探りました。

大町高校の野外実習

平成26年8月1日㈮実施

長野県立大町高等学校２学年理数科は、毎年、白馬村にある親海（およみ）湿原で野外実習を行っています。1年の生物基礎の単元「植生と遷移」で習ったことを実際に野外で観察し、また郷土の自然に親しむことを目的とした実習だそうです。

博物館では、隣にある青木湖との関係や湿原の成り立ち、植物と昆虫との関係、匂いからわかる植物名などをご紹介しながら、郷土の自然を楽しく学び、関心を持てるようお手伝いをさせていただきました。

白馬中学校の職業体験学習

平成26年7月23日㈬・24日㈭実施

山岳博物館では、中学生や高校生を中心に職業体験学習の受け入れを実施し、地域における社会教育施設として、学校教育におけるキャリア教育推進のひとつとして取り組んでいます。

この度は、白馬中学校２年生２人が２日間の職業体験学習を行いました。飼育員といっしょに餌の調理・給餌、飼育舎の清掃、園内の整備という通常業務を一通り体験しました。後日、体験を通して２人からは「人や動物に優しく、自分には厳しくしていきたい」「何事にもあきらめずにがんばりたい」という感想のお手紙をいただきました。

TCAインターンシップの受け入れ

平成26年7月25日㈮～8月3日㈰実施

東京コミュニケーションアート専門学校（TCA）のエコ・コミュニケーション科の学生１名が、山岳博物館にインターンシップとして就業体験をしました。

付属園に飼育している動物の飼育方法と実際の給餌、食糧計画や発注などの食料管理などを学ばれ、「普段ではなかなか接することのできない動物の姿や貴重な体験に感動」されたとのことです。

山岳博物館では、このように学生が一定期間、研修生として働き、博物館の仕事を体験するための機会を提供しております。

大町東小学校３学年理科 －トンボの観察会－

平成26年7月22日㈫実施

山岳博物館では、市内小中学校への出張講座形式の授業として、大町東小学校３学年の理科単元「身近なしぜんのかんさつ」と「こん虫の育ち方」において、トンボの野外観察会を大町市内の農具川で開催しました。

授業では、各自捕虫網を使い採集したトンボの翅や腹の色などを比較することを通して、観察力の向上を目指しました。児童たちは実際にトンボを手に取り、翅の先にある白い紋の有無や、体の角度を変えて金属光沢があるかなど熱心に調べていました。

この日は気温が非常に高かったため予定時間を早めに切り上げての観察でしたが、暑さを忘れてミヤマアカネ、モノサシトンボ、シオカラトンボなどが見つかりました。

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　宮野典夫
TEL. 0261-22-0211 Fax.0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

9月号
第 59 巻第８号

発行日　2014 年８月 25 日
印　刷　株式会社 奥村印刷所
〒 398-0002 長野県大町市大町 2470
TEL.0261-22-0205 FAX.0261-22-1345